

「広津よ永遠に」シリーズ その12 2012.3.17

「その11」から4か月近く経ってしまいました。冬の広津の様子をお知らせします。12月中旬頃から積雪があります。せいぜい5~25CMの降雪です。でもなかなか融けません。屋根の雪下ろしは不要です。そんなに積もりませんので。1~2月はハンターを良く見かけます。集団で狩猟をします。鹿、イノシシが主な対象物のようです。作物を荒らされる恨みもあるようです。かつてはキジやヤマドリ、ウサギなどが対象物だったようです。そのせいか、キジやヤマドリを良く見かけます。今冬はリスを何回も見かけました。キツネも。3月に入っても、朝晩はまだ氷点下5度~10度近くまで冷え込みます。昼間の日差しは暖かくなり、日当たりの良い道路には雪はありません。日陰はなかなか融けません。アチコチで福寿草が咲き始めます。大群生はありませんが、道端や庭先で普通に見られます。

フクジュソウ

森林整備作業



中央右は日本デジタル大峰研修所。
左は鹿島槍ヶ岳。手前は旧大峰牧場と桜並木

日陰は凍結状態



長野県は森林税を徴収しているのので、広津でもアチコチで森林整備作業が一年中行われています。主に大北森林組合があたっているようです。都会などから広津や旧八坂村などの空き家などに移住した若手の人達が従事しています。積雪量が少ないので真冬でも作業が行われています。森がとてもきれいに整備されています。何年か後には「きのこ」が沢山採れるのではと私は期待しています。反面タラノメやコシアブラ、マタタビなどの木が伐採されてしまいガッカリもします。冬でもスッカリ有名になった「大カエデ」を撮影するカメラマンや観光客も見られます。



平出集落のNさん宅の庭にはユキワリソウ（ミスミソウ）、セツブンソウが毎年3月中旬に咲きます。フクジュソウと合わせ、3種の花が一坪ほどの一角に咲き競います。仕事で行き見るのが楽しい時期です。フキノトウもそろそろ出そうです。

セツブンソウ

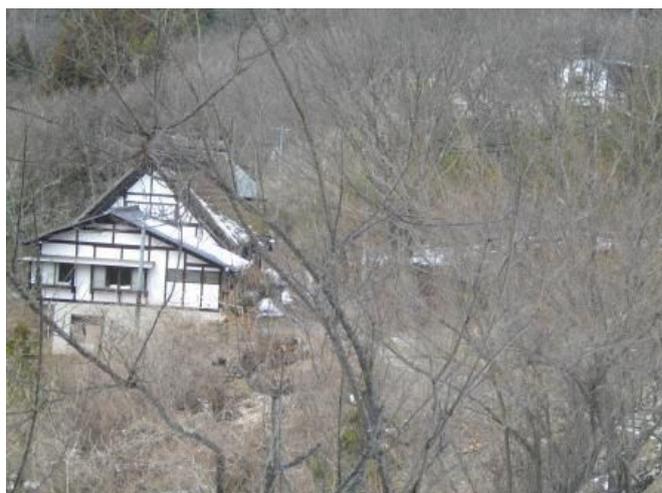
ユキワリソウ



旧陶芸村の家 1



旧陶芸村全景



旧陶芸村の家 2



大峰から広津の集落の眺め。奥は聖山。



足沼集落には昔「陶芸村」がありました。(今は廃村) その2戸の家には移住した方が住んでいます。とても広々とした個性的な建物です。1戸では陶芸家が今でも「MIWA POTTERY」(ミワポタリー) 名で作陶されています。ちなみに池田町には10か所の窯元があり、昨年「信州池田陶芸家十勇士」を結成しました。その初の陶芸展が3/22~27松本駅前の井上百貨店で開催されます。所属する13人の多彩な力作約80点が展示予定です。